

発掘調査整理進行中！！

平成14年度は町内4箇所が発掘調査が実施されました。東はウトロ高原の新宇登呂小中学校グランド予定地（ウトロ高原4遺跡）で、順次斜里に向かって、ウトロカメ岩のそば（チャシコツ岬下B遺跡）、オンネベツ川左岸国道沿い（オンネベツ川西側台地遺跡）、市街地を通り越して町の西境、大栄1号道路沿い（大栄9遺跡）でした。

どれもが重要な調査でしたが、中でも、ウトロの2つの発掘調査より判明したことは貴重となるものでした。

ウトロ高原4遺跡は、縄文時代早期から前期にかけて利用されていた狩場であることが出土した石器の種類構成から判明しました。狩猟道具として利用されたと考えるナイフやスクレイパーなどの石器出土割合が全体の石器出土割合の3割以上もありました。町内で同時期の遺跡を調べたところ、石器の割合がせいぜい多くても5%程度で、ほとんどが利用されていない剥片の石器であります。これほど多い石器の出土割合を示す遺跡はオホーツク海側の地域では今まで発見された報告はありません。この後、狩場として利用されなくなったのはなぜでしょうか。

ウトロチャシコツ岬下B遺跡は、何度か調査がなされています。今回貴重な発見となったことは2つあります。一つは、現在の国道下部分にも竪穴住居が保存されていることがわかったことです。それもオホーツク文化期の焼失家屋や貼り床を持つ家屋がいくつもあることです。研究者にとっては貴重な研究材料を提供してくれる遺物が多く残されている可能性が高い住居なのです。

もう一つは、動物の形を真似て作った牙や骨製品が見つかったことです。当遺跡からは、ラッコや海獣が見つかりました。常呂町や網走市、羅臼町などでも見つかります。それから、カエルの像が貼り付いた土器片も見ついています。これと同時期のものは網走市の最寄貝塚で見ついているだけで、貴重な資料といえます。

（松田功）



博物館 開館時間 9:00～17:00
休館日 毎週月曜日

4月～10月は祝日も開館しています。

皆様のご来館をお待ちしております。

今月号よりタンネウシの編集を担当します。
まだまだ不慣れですが、少しずつ勉強していきますので
宜しくお願い致します。

（秋山）

発行 斜里町立知床博物館協力会 2002.3.15
099-4113
北海道斜里郡斜里町本町49 斜里町立知床博物館内
TEL:01522-3-1256/FAX: 3-1257
<http://www5.ocn.ne.jp/~museumps/>